

平成 30 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	5	基本目標名	豊かな自然と共生したまち							
施策 No.	35	施策名	快適な生活環境の保全と向上							
主管課名	環境安全課									
関係課名	農林水産課、都市計画課、下水道課									
施策が目指すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・公害のない安全で快適な生活環境が保たれています。 ・街並みや地域遺産がある景観がきれいに保たれています。 ・都市部や中山間地域の環境が快適に保たれています。 									
施策の成果向上に向けた住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市民・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題に配慮し、近隣の迷惑にならないように騒音、振動、排水などに留意します。 ・空き家、空き地の管理を適切に行います。 ・地域住民が協力して、美しい街並みを維持します。 								
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・環境監視体制の充実及び指導、パトロールの強化並びに環境保全や啓発活動を行います。 								
	その他(地域)	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体(県、中山間地域協議会、実施隊等)と連携し、生活地域に応じた生活環境の保全等を図るための取組みを行います。 								
施策を実行するうえで基本となる事業	基本事業①	公害防止対策の推進								
	基本事業②	快適な住環境の整備								
	基本事業③	環境美化・保全活動の推進								
	基本事業④									
施策のトータルコスト	区分			単位	25年度実績	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数			本	5 (3)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)	4 (2)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本	4 (3)	3 (2)	3 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本				3 (2)	3 (2)	3 (2)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)			本						
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）			千円	5,136	10,906	4,530	3,969	4,809	5,138
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計			千円	4,119	3,284	3,847	3,254	3,999	4,285
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計			千円	1,017	7,623	683	0	0	0
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計			千円				715	810	853
効率性指標	C. 施策に携わる正規職員数合計			人	9	8	8	8	8	6
	D. 事務事業に要する年間総時間			時間	2,440	2,400	2,580	2,500	2,300	1,600
	E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）			千円	10,233	10,517	10,787	10,278	9,262	6,419
	F. トータルコスト（B+E）			千円	15,369	21,423	15,317	14,247	14,071	11,557
	G. 事業費（定義式：B／人口）			円	117	250	105	93	114	122
参考	H. 人件費（定義式：E／人口）			円	232	241	250	241	219	152
	I. トータルコスト（定義式：F／人口）			円	349	492	355	334	332	274
	J. 1時間あたりの平均人件費			円	4,194	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012
	魚津市の人口(各年度12月末時点)			人	44,036	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132

基本事業概要シート①

施策No.	35	施策名	快適な生活環境の保全と向上
基本事業名	①公害防止対策の推進		
基本事業の目的(意図)	身近な生活環境が良好に保たれるように大気汚染、水質汚濁、騒音などを監視し、測定体制の充実を図ります。また、環境汚染などの未然防止を図るため、事業者への環境保全にかかる指導などを推進します。		
平成30年度における主な事業内容(活動内容)	<p>【公害防止対策事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本カーバイド工業(株)魚津工場及びパナソニックセミコンダクターソリューションズ(株)魚津工場の排水検査を実施しました。また、地下水位常時観測(5箇所)、河川水質調査(鴨川、角川、片貝川)、地下水水質調査、自動車騒音常時監視調査、環境騒音調査等を実施し、環境基準等が守られ、生活環境が良好に保たれていることを確認しました。 ・市民からの公害苦情等があった時には、現地調査を行うとともに改善等の指導を行いました。 ・平成27年3月に開業した北陸新幹線の騒音に係る「環境基準の類型」「測定」等について協議する『北陸新幹線環境基準連絡会議』(県生活環境文化部主催)に参加し、調査結果等について情報共有しました。 ・PM2.5や光化学オキシダントの注意報等の発生に備え、県や関係各課等との伝達訓練を実施しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
典型7公害の苦情受付件数	件	29	37	26	34	33	32	31	30
河川の水質の調査の結果が環境基準を達成している割合	%	100	98	100	100	100	100	100	100

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成30年度			担当課	
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ 公害防止対策事業	4,574,000	4,284,615	289,385	A	環境安全課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			4,574,000	4,284,615	289,385		

基本事業概要シート②

施策No.	35	施策名	快適な生活環境の保全と向上
基本事業名	②快適な住環境の整備		
基本事業の目的(意図)	衛生的な住環境を整えるとともに、空き家・空き地対策等を進め快適な生活環境を作ります。また、中山間地域等の農地・水・環境の保全を図るため、地域の共同活動に支援するなど、地域特性に応じた生活環境の保全を図ります。		
平成30年度における主な事業内容(活動内容)	<p>【鳥獣被害対策事業】(再掲) ・農作物等に対する鳥獣被害対策(防除、駆除)を行い、7月から9月にかけて、西布施地区において、サルによる農作物被害が発生したことから、パトロールを強化しました。それ以外の中山間地域においては、目撃情報があったものの、実施隊を中心としたパトロールの実施等により被害を防止しました。(農作物被害額:3,470千円→10,114千円)。</p> <p>・有害鳥獣の捕獲にかかる負担軽減、資源としての利用を図るため、黒部市とともに、NPO法人新川地区獣肉生産組合が整備を行う獣肉処理加工施設の建設及び運営費を対象とし、助成しました。</p> <p>【元気な中山間地域づくり支援事業】(再掲) ・協定締結した中山間地域の24集落(法指定:16集落、特認:8集落)に対し、不利益を補正するとともに農地等の保全、農業の継続、有害鳥獣対策、耕作放棄地対策等の活動を行うための交付金を交付しました。(対象農地358.05ha→358.76ha、交付額:53,559千円→53,705千円)</p> <p>【空家対策支援事業】(再掲) ・危険老朽空家の解体工事に対して6件の補助金支援を行い、付近住民が安心できる環境を整備しました。</p> <p>【し尿収集事業】(再掲) ・家庭や工事現場等の仮設トイレのし尿くみ取りについて、適切に収集し、処理施設への搬入を行いました。</p>		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
野生鳥獣による農作物被害額(再掲)	千円	1,066	4,860	5,940	4,610	4,500	4,350	4,200	4,116
					3,275	3,470	10,114		
空き家、空き地の苦情受付件数	件	36 (H24年度)	46	57	45	45	45	45	45
					34	88	67		
水洗化率(再掲)	%	82.1	83.1	84.5	84.7	85.6	86.4	87.2	88.0
					85.3	86.1	87.0		

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成30年度			担当課	
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)		
1	一般会計	○ 鳥獣被害対策事業(施策4②再掲)	(5,999,000)	(5,999,000)	(0)	A	農林水産課
2	一般会計	○ 元気な中山間地域づくり支援事業(施策4②再掲)	(54,118,000)	(53,982,779)	(135,221)	A	農林水産課
3	一般会計	○ 空家対策支援事業(施策16①再掲)	(2,600,000)	(2,600,000)	(0)	A	都市計画課
4	一般会計	○ し尿収集事業(施策36②再掲)	(25,047,000)	(24,272,167)	(774,833)	A	環境安全課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			0	0	0		

基本事業概要シート③

施策No.	35	施策名	快適な生活環境の保全と向上						
基本事業名	③環境美化・保全活動の推進								
基本事業の目的(意図)	団体等の環境保全活動への支援を行うとともに、市民等が主体的、自主的に快適な生活空間や美しい景観を保全するための取組みが行われるよう啓発します。								
平成30年度における主な事業内容(活動内容)	<p>【環境保全啓発事業】 ・「第24回環境フェスティバル」(平成30年9月29日(土) ありそドーム)を開催し、企業、団体等による環境美化及び保全活動を紹介するとともに、市民の環境保全に対する意識の啓発に努めました。また、環境教育として、環境保全ポスタークンクール、グリーンカーテン事業(コンテスト含む)、エコライフ指導等を実施しました。</p> <p>【環境保全活動推進事業】 ・市内の環境保全活動に取り組む団体に対し、「環境保全活動支援事業補助金」を交付しました。(2団体に計200千円)</p> <p>【空家対策支援事業】(再掲) ・危険老朽空家の解体工事に対して6件の補助金支援を行ない、付近住民が安心できる環境を整備しました。 ・空家・空地情報バンクを活用して、所有者と利用希望者の契約が22件成立しました。</p>								

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度 (最終目標年度)
環境の保全のための取組を行っている市民の割合	%	35.9 (H23年度)	39.0	36.2	68.0	71.0	74.0	77.0	80.0
					36.6	43.8	43.7		

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)							
No.	会計名	事務事業名	平成30年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	予算なし	墓地經營許可・改葬許可事務	0	0	0	-	市民課
2	一般会計	○ 環境保全啓発事業	333,000	321,858	11,142	B	環境安全課
3	一般会計	○ 環境保全活動推進事業	803,000	531,274	271,726	B	環境安全課
4	一般会計	○ 空家対策支援事業(施策16①再掲)	(2,600,000)	(2,600,000)	(0)	B	都市計画課
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			1,136,000	853,132	282,868		

施策 No.	35	施策名	快適な生活環境の保全と向上
1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)			
<p>【①公害防止対策の推進】</p> <p>◆近年、典型7公害の苦情件数は概ね20~30件前後で推移しています。平成30年度の公害苦情件数は19件であり、大気汚染が1件、水質汚濁が10件、騒音が122件、悪臭が6件となっています。</p> <p>◆河川の水質については、下水道や合併処理浄化槽が整備、普及されたことや、市民団体等による環境保全活動が行われていることなどから、環境基準を満たし、水質は保全されています。</p> <p>◆近年、光化学オキシダントの発生や微小粒子状物質(PM2.5)の飛散が問題となっています。</p> <p>【②快適な住環境の整備】</p> <p>◆野生鳥獣による農作物被害は、防護柵の設置や対象鳥獣の駆除などの対策を強化していますが、生息数の増加に加えニホンザルによる果樹被害が発生したことから増加となりました。また、鳥獣の活動エリアが平野部まで及んでおり、平野部での被害発生が懸念されています。</p> <p>◆し尿収集事業については、水洗化率の向上に伴い、し尿収集量は減少傾向にあり、平成30年度は、1,496,610リットルで前年度より13.9%減少しています。</p> <p>◆市街地区域では人口の空洞化が進むと並行して空家も多くなっています。</p> <p>◆管理されていない空き地・空き家の増加とともに問い合わせや苦情も増加する傾向にあります。</p> <p>◆空家・空地情報バンクは、滑川市は平成18年度から、当市は平成19年度から、黒部市は平成27年度から実施しています。</p> <p>【③環境美化・保全活動の推進】</p> <p>◆環境保全活動に関する市民意識調査結果では、「環境保全に取り組む市民の割合」は昨年とほぼ同割合です。また、「今後取り組みたい」と回答した市民が35.1%あり、合わせて78.8%になることから、環境保全の意識や必要性は概ね理解、認識されていると考えられます。</p>			
2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (平成30年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)			
<p>【①公害防止対策の推進】</p> <p>＜公害防止対策事業＞</p> <p>◆事業所や北陸新幹線の騒音等について、申立人・発生源・関係者・関係機関等と対応・対策について協議を重ね、早期解決を図りました。</p> <p>【②快適な住環境の整備】</p> <p>＜元気な中山間地域づくり支援事業＞(再掲)</p> <p>◆協定締結した中山間地域の24集落(法指定:16集落、特認:8集落)に対し、交付金を交付しました。これにより、農地等の保全、農業の継続、有害鳥獣対策、耕作放棄地対策が図られました。</p> <p>＜空家対策支援事業＞(再掲)</p> <p>◆危険老朽空家の解体工事に対して6件の補助金支援を行い、付近住民が安心できる環境を整備しました。</p> <p>◆不動産業者や各個人から情報提供された空家・空地を市ホームページ上で知らせることや、固定資産税の納付通知書に空家・空地情報バンクのチラシを同封して周知を図るなど、空家空地情報バンクの有効利用の促進に努め、33件の登録件数がありました。</p> <p>平成30年度の評価結果(基本事業の成果を考慮し記載)</p> <p>【③環境美化・保全活動の推進】</p> <p>＜環境保全活動推進事業＞</p> <p>◆環境保全活動に取り組む団体に対し環境保全基金を活用した補助金(1団体あたり上限10万円)を交付し、環境保全意識の高揚に繋げました。</p>			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①公害防止対策の推進】</p> <p>◆公害防止のための各種調査、指導等を行っていくとともに、市民等への情報公開に努めています。併せて、近年、一般家庭からの灯油漏れによる河川等への流入事故が全県的に増加しているため、市民等への注意喚起や防止のための啓発を積極的に行っていきます。また、騒音等の環境基準達成状況や事業所等の排水基準の遵守について、引き続き検査等を実施していきます。</p> <p>◆北陸新幹線による騒音等に関しては、県や沿線市町村、鉄道運輸機構、JR西日本で組織する『北陸新幹線環境基準連絡会議』に参加し、その対応や対策について注視していきます。</p> <p>◆PM2.5や光化学オキシダントの注意報等の発生に備え、引き続き関係各課等との伝達訓練を実施するとともに、健康への影響を防ぐため、市民への注意喚起等適切な情報提供に努めています。</p> <p>【②快適な住環境の整備】</p> <p>◆野生鳥獣による農作物被害は、防護柵の設置や対象鳥獣の駆除などの対策を強化しておりますが、生息数の増加や活動エリアの拡大などにより、増加すると見込まれることから、より一層の対策強化に取り組みます。</p> <p>◆地域の活性化や定住化を促進するために空家利活用等の対策が必要なため、市広報やホームページなどで空家・空地情報バンクを周知し市内空家の所有者に意向調査アンケート等を送付するなど、空家登録バンク制度の周知をすることで健全な空家の有効利用を図り、空家等対策計画を進めます。</p> <p>◆老朽空家については、建物解体を補助金支援の周知も含めて啓発し、解体後の土地の流動化による人口増加につながるように進めます。</p> <p>【③環境美化・保全活動の推進】</p> <p>◆成果指標を達成させるためにも、引き続き、環境保全基金の活用による環境保全活動団体への支援、環境フェスティバルの開催、環境教育として環境保全ボスター・コンクール、グリーンカーテン事業(コンテストを含む。)やエコライフ指導等の環境保全事業を実施し、市民等の環境保全意識の高揚に取り組みます。</p> <p>◆漂着ごみ対策として各地域や企業、学校、ボランティア団体等で、海岸を清掃して頂いている団体に対し、ごみ袋を配布し、集積されたごみの回収を行います。また、県の補助を活用しながら手作業では回収できない流木等の撤去を行います。</p>			

部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)	<ul style="list-style-type: none">◆公害防止のため、水質や騒音等の公害監視を継続していくこと。また、大気汚染物質についても監視と連絡体制を維持し、市民への情報提供に努めていくこと。◆鳥獣被害対策実施隊、被害地域の住民、農林業関係団体と行政の四者連携による総合的な対策を進めていくこと。◆引き続き、空き家対策について総合的に事業を推進すること。
---------------------------------	--

施策の方針 (今後の事務の取組みの参考)	<ul style="list-style-type: none">◆公害防止のため、水質や騒音等の公害監視を継続します。また大気汚染物質についても監視と連絡体制を維持し、市民へ情報を提供します。◆快適な住環境の整備のため、引き続き空家対策に関する総合的な施策を進めます。
-------------------------	---